

# 福島の復興のあゆみ

## 【分野別】

- 住宅分野
- インフラ分野
- 農林水産分野
- 産業分野
- 教育・文化・子ども分野
- 医療・福祉分野

## ○ 住宅分野

年月日	概要	
平成25年	5月	コミュニティ復活交付金の創設
	6月14日	第一次福島県復興公営住宅整備計画の公表 (整備戸数：3,700戸)
	11月16日	復興公営住宅整備工事安全祈願祭(郡山市日和田地区) ※原子力災害避難者向けの復興公営住宅の工事着手第1号  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(復興公営住宅の建設はじまる)</a>
	11月30日	復興公営住宅整備工事安全祈願祭(いわき市小名浜地区)  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(小名浜地区復興公営住宅の安全祈願祭)</a>
	12月18日	復興公営住宅整備工事安全祈願祭(会津若松市古川町地区)
	12月20日	第二次福島県復興公営住宅整備計画の公表 ※整備戸数：3,700戸→4,890戸 +1,190戸
平成26年	2月1日	復興公営住宅モデルルームオープン(いわき市)
	2月14日	福島県復興公営住宅入居支援センターオープン(福島市)
	2月28日	復興公営住宅モデルルームオープン(郡山市)
	3月	災害公営住宅の供用開始(いわき市)  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(災害公営住宅の供用開始)</a>
	4月～5月	福島県復興公営住宅第1期入居募集(528戸) ※原子力災害による避難者向け住宅
	8月31日	復興公営住宅竣工(福島市飯野町地区：飯舘村営) ※原子力災害による避難者向け住宅第1号  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(復興公営住宅完成)</a>
	10月～11月	福島県復興公営住宅第2期入居募集(224戸) ※原子力災害による避難者向け住宅

年月日		概要
	11月7日	<u>福島県復興公営住宅竣工（郡山市日和田地区・八山田地区）</u> <u>※原子力災害による避難者向け県営住宅第1号</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。（初の県営復興公営住宅 鍵引渡し式）</a>
平成 27 年	1月15日	<u>福島県復興公営住宅鍵引渡し（会津若松市古川町地区）</u>
	2月1日	<u>福島県復興公営住宅入居開始（いわき市下神白地区）</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい（災害公営住宅入居開始）</a>
	3月19日	<u>災害公営住宅鍵引渡し（須賀川市馬町地区）</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい（災害公営住宅鍵引渡し式）</a>
	3月26日	<u>災害公営住宅鍵引渡し（南相馬市大町第一地区及び大町第二地区）</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい（災害公営住宅鍵引渡し式）</a>
	4月～ 5月	<u>福島県復興公営住宅第3期入居募集（1,349戸）</u> <u>※原子力災害による避難者向け住宅</u>
	11月～ 1月	<u>福島県復興公営住宅第4期入居募集（706戸）</u> <u>※原子力災害による避難者向け住宅</u>
平成 28 年	1月27日	<u>復興公営住宅「大玉村営横堀平団地」竣工式（福島県大玉村）</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい（復興公営住宅竣工式）</a>

〔参考〕建設状況(完了地区・戸数) ※「住まいの復興工程表(平成27年9月末現在)」ベース

○地震・津波等被災

年度	自治体名	地区名	戸数	年度	自治体名	地区名	戸数	
H24	相馬市	程田明神前	46	H27 上半期	桑折町	東段	22	
		馬場野	12			須賀川市	東町	21
		狐穴	12		いわき市		小名浜	189
		南戸崎	10			佐糠	51	
小計			80	矢吹町	中畑	4	平北白土	50
H25	いわき市	錦	64	小計				337
		平沼ノ内	40	H27 下半期 (予定)	いわき市	内郷	250	
		常磐	32			常磐湯本	88	
	相馬市	細田東	77			勿来四沢	30	
	新地町	愛宕東	30		久之浜	16		
	南相馬市	駒ヶ嶺原	6		南相馬市	原町(戸建)	38	
		西川原	28			原町(集合)	33	
小計			277		西川原第2	32		
H26	いわき市	平豊間	192	大町第3	29			
		四倉	151	小高東町	20			
		久之浜	120	小高区内(集合)	18			
		平薄磯	103	小高(集合)	2			
		勿来関田	72	須賀川市	弘法坦	45		
		平作町	45		山寺北	23		
		勿来四沢	20	矢吹町	中町第2	23		
	相馬市	刈敷田第2	106		中町第1	14		
		鷺山	56	中町第3	11			
		荒田	51	檜葉町	山田浜シウ神山	10		
		南ノ入	28		一ツ屋	8		
	新地町	雁小屋	27	小計				690
		岡	14	総計				2,644
		大戸浜	11					
		作田西	9					
	南相馬市	作田東	6					
		大町第2	80					
		大町第1	40					
		西町	30					
	広野町	広野原	48					
	鏡石町	駅東	24					
	白河市	葉ノ木平	16					
	須賀川市	馬町	11					
小計			1,260					

○原子力災害

年度	自治体名	団地名	戸数	
H26	郡山市	東原	50	
		富田町	40	
		柴宮	30	
		日和田	20	
		八山田	20	
	いわき市	下神白	200	
		湯長谷	50	
	会津若松市	古川町	20	
		年貢町2	8	
	福島市	北信	24	
		笹谷	24	
		飯野町	23	
	小計			509
H27 上半期	郡山市	富田町2	40	
		富田町3	40	
		富田町4	34	
		八山田2	40	
	会津若松市	年貢町1	42	
	桑折町	東段	25	
	川内村	宮ノ下	15	
		宮ノ下2	10	
	大玉村	横堀平1(D街区)	17	
	いわき市	平八幡	12	
	小計			275
	H27 下半期 (予定)	郡山市	八山田3	40
			安積町2	35
鶴見坦			30	
安積町4			20	
東原3			20	
安積町			16	
東原2			15	
いわき市		小川町-1	28	
		常磐関船町	27	
三春町		恵下越	60	
本宮市		仁井田	22	
		和田	20	
		仁井田2	19	
福島市		飯坂	58	
		大玉村	横堀平1(C街区)	21
		横堀平1(G街区)	21	
会津若松市		白虎町1	19	
小計			471	
総計			1,255	

平成28年度以降の予定については、[ここをクリックして下さい](#)（「[住まいの復興工程表](#)」）。

# インフラ分野

	年月日	概要
平成 25 年	2月9日	東北中央自動車道 相馬西道路 着工
	6月10日	避難指示区域内で生じる工事廃棄物等への対応に係る 連携協議会 設立
	10月31日	いわき市夏井地区海岸堤防が完成 ※復旧復興事業で海岸堤防の完成は県内発。砂利の代 替資材としてコンクリート瓦礫を粉砕したものを使用 した工法は全国初。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(海岸堤防 第一号完成)</a>
	1月12日	請戸漁港復旧工事 着手
	11月16日	東北中央自動車道 阿武隈東～阿武隈 着工
	11月25日	藤沼湖復旧工事 本格着手
	平成 26 年	2月22日
3月16日		双葉郡沿岸部 災害復旧・復興工事 着工
3月22日		東北中央自動車道 栗子トンネル 貫通式
3月25日		県道 原町川俣線（八木沢トンネル）着工
6月1日		JR常磐線 広野～竜田間 運行再開
8月8日		インターチェンジ（IC）の追加設置が許可される ・ならばスマートIC（常磐道） ・いわき小名浜IC（常磐道） ・田村中央スマートIC（磐越道）
9月15日		国道6号及び県道36号の帰還困難区域の特別通過交 通制度の運用変更開始
9月28日		東北中央自動車道 霊山～福島 着工
11月27日		浜通りの復興に向けたJR常磐線復旧促進協議会開催
12月6日		常磐自動車道 浪江IC～南相馬IC、相馬IC～山 元IC 開通

	年月日	概要
平成 27 年	1月31日	JR常磐線 竜田駅～原ノ町駅間代行バス運行開始
	3月1日	常磐自動車道全線開通 常磐富岡IC～浪江IC開通
	3月27日	浜通りの復興に向けたJR常磐線復旧促進協議会（第2回）開催 ※全線運行に向けた今後の再開方針を決定し公表 浜吉田駅～相馬駅：2017年春頃に運転再開見込み 原ノ町駅～小高駅：2016年春までに開通 小高駅～浪江駅：遅くとも2年後の開通を目指す 竜田駅～富岡駅：3年以内を目途に出来るだけ速やかな開通を目指す 浪江駅～富岡駅：除染や異常時の利用者の安全確保策が完了後、開通
	4月	国道399号十文字工区が直轄権限代行事業として新規事業化
	6月12日	インターチェンジ（IC）の追加設置が許可される ・大熊IC（常磐道） ・双葉IC（常磐道）
	8月18日	避難指示区域内のJR常磐線復旧に係る検討チーム会合開催 ※富岡・浪江駅間における除染試験施工実施
平成 28 年	3月10日	JR常磐線の全線運転再開の見通しが公表される 〔 浜吉田駅～相馬駅：平成28年12月末までに運転再開 原ノ町駅～小高駅：『平成28年春までに開通』※1 小高駅～浪江駅：『遅くとも2年後（平成29年春）の開通を目指す』※1 竜田駅～富岡駅：『平成29年内の開通を目指す』※2 浪江駅～富岡駅：『平成31年度末までの開通を目指す』※3 〕 ※1 国土交通省「JR常磐線の全線開通に向けた見通し等について」平成27年3月10日公表 ※2 「第3回浜通りの復興に向けたJR常磐線復旧促進協議会」（平成28年2月23日）においてJR東日本より報告 ※3 国土交通省「JR常磐線の全線開通の見通しについて」平成28年3月10日公表

年月日		概要
平成 28 年	3月10日	<p><b>常磐自動車道の4車線化について公表される</b></p> <p>3月10日に開催された第15回復興推進会議において、国土交通大臣より、常磐自動車道の4車線化について、以下の通り報告。</p> <p>(報告内容)</p> <p>○総理からご指示をいただいております件について、ご報告申し上げます。</p> <p>○常磐自動車道について、渋滞状況を確認した上で、有識者の意見も聞きながら、検討を重ねてまいりましたが、</p> <p>    いわき中央インターチェンジ～広野インターチェンジ 27km</p> <p>    山元インターチェンジ～岩沼インターチェンジ 14km</p> <p>の4車線化に着手し、復興・創生期間内の概ね5年での完成を目指すこととし、直ちに事業に着手します。</p>
	3月20日	<p>県道 原町川俣線 八木沢トンネル貫通</p>

## ○ 農林水産分野

年月日		概要
平成 25 年	5月	<p><u>広野町で3年ぶりに水稲作付が全面的に再開</u>            ※101戸の農家が110haの水田(町内の水田の半分近くに相当)でコシヒカリやひとめぼれ等を作付            ※広野町その他、田村市、川内村においても一部地域で作付、南相馬市や避難区域内8市町村の除染後農地で試験栽培・実証栽培を実施。</p>
	5月	<p><u>県産農林水産物PRを首都圏等でTV放映や電車・駅での広告宣伝</u>            ※5~7月野菜編、7~8月もも編、9月秋編、10~12月米編を放映            ※県内その他、首都圏等で8月、11月に農産物PRイベントを7回実施            ※きゅうり、米、あんぽ柿をテーマに、都内でのメディアセミナーと産地へのメディアツアーをセットで3回開催</p>
	8月22日	<p><u>平成25年産米玄米の全袋検査を開始</u>            ※3月26日現在検査点数：10,946,642点　うち基準値超え28点</p>
	9月4日	<p><u>福島県産ももをタイ(1,925kg)、マレーシア(1,200kg)へ輸出</u>            ※他にも、りんご(900kg)、なし(250kg)、ぶどう(80kg)、ミニトマト(40kg)、アスパラガス(29kg)を輸出。            &lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています!&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(福島県産“もも”のタイへの輸出再開)</a></p>
	9月9日	<p><u>川俣町山木屋地区のトルコキキョウ実証栽培現地検討会</u>            ※花き農家8戸で構成される「あぶくまカットフラワーグループ」が福島県営農再開支援事業を活用してトルコキキョウの実証栽培(ハウス栽培)に取り組む。            ※営農再開へ向け栽培管理手法の検証や品質評価を実施するため現地検討会を開催。卸売市場等花き関係者からも高い評価。            &lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています!&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(復興トルコキキョウ栽培)</a></p>
	9月25日	<p><u>広野町で3年ぶりの米の出荷再開</u>            ※放射性物質の検査は、18,000袋全袋が基準値内。</p>



年月日		概要
平成 25 年		<p>※広野町その他、田村市、南相馬市、川内村においても一部地域で3年ぶりの米の出荷再開</p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(被災地からの米の出荷)</a></p>
	10月5日	<p>「ごちそうふくしま満喫フェア2013」開催</p> <p>※「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動推進本部」設立総会が開催。県内農林水産物の生産から流通・消費に至る関係機関・団体31団体が参加</p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(ごちそうふくしま満喫フェア2013) [平成25年10月5日・6日]</a></p>
	12月2日	<p>福島県北地方の特産品「あんぽ柿」が3年ぶりに出荷</p> <p>※放射性物質については非破壊検査機器による検査で全て基準値内。</p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(3年ぶりの「あんぽ柿」出荷)</a></p>
平成 26 年	1月	<p>トルコキキョウの営農再開</p> <p>※「あぶくまカットフラワーグループ」の農家が、川俣町山木屋地区において市場出荷に向けたトルコキキョウの生産に8名の生産者が取組む</p>
	3月7日	<p>26年産米について作付制限区域を前年の6,000haから2,100haとし、新たに3,900haを作付再開に向けた実証栽培等の取組区域とすることを決定。</p>
	4月24日～	<p>川俣町山木屋地区農業復興支援チームの活動開始</p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(川俣町山木屋地区農業復興支援チームの活動開始)</a></p>
	5月～	<p>水稻の営農作付の拡大等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除染の終了した水田において営農作付等の動きが拡大</li> <li>①営農作付の拡大（田村市297ha、広野町148ha、川内村158ha）</li> <li>②実証栽培から営農作付への移行（南相馬市110ha）</li> <li>③実証栽培の実施（富岡町1.2ha、楡葉町6.5ha、川俣町0.6ha、飯舘村1.2ha、※浪江町1.2ha）</li> </ul>

年月日	概要
平成 26 年	<p>④試験栽培の実施（※大熊町0.25ha、葛尾村0.08ha）          ※印は、4年ぶりの田植を実施  <u>漁業再開の足掛かりとなる試験操業対象魚種の拡大</u>          ※5月末に18魚種から38種、8月末には58種となった。</p> <p>＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞  <a href="#">ここをクリックして下さい。(漁業再開の足掛かり-試験操業続く)</a></p>
	<p>7月21日</p> <p><u>川俣町山木屋地でトルコキキョウの出荷を震災後4年ぶりに再開（8月3日には川俣町農業復興祭を開催）。</u></p> <p>＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞  <a href="#">ここをクリックして下さい。(「川俣町農業復興祭」開催)</a></p>
	<p>7月31日</p> <p><u>飯舘村で業務用いちごの出荷を震災後4年ぶりに再開</u></p> <p>＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞  <a href="#">ここをクリックして下さい。(イチゴの出荷再開)</a></p>
	<p>8月18日</p> <p><u>シンガポールへ福島県産米の輸出を再開</u></p>
	<p>8月25日</p> <p><u>インドネシアへ福島市・伊達市のモモとナシ、タイへ白河市のはと麦茶を初輸出</u></p>
	<p>8月21日</p> <p><u>平成26年産米玄米の全袋検査を開始</u>          ※2月9日現在検査点数：10,895,376点　うち基準値超えは無し。</p>
	<p>9月～</p> <p>稲刈りを実施。南相馬市9月15日。広野町9月22日新嘗祭へ献上。富岡町、川俣町10月2日。※浪江町10月4日。※大熊町10月7日。          ※印は、4年ぶりの稲刈りを実施</p>
	<p>10月17日</p> <p><u>福島県漁業調査船「いわき丸」就航</u></p> <p>＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞  <a href="#">ここをクリックして下さい。(福島県漁業調査船「いわき丸竣工式」)</a></p>
	<p>12月3日</p> <p><u>4年ぶりに葛尾村産新米の試食会を実施</u></p>
	<p>12月5日</p> <p><u>福島県北地方の特産品「あんぽ柿」2年目の出荷</u></p>

年月日	概要
1月6日	川内村タラノメ生産組合で収穫作業始まる。 震災前の収穫量を目指す。
2月18日	檜葉町、川内村で野菜の出荷制限が解除
2月18日	大熊町で農業再生会社「おおくま未来合同会社」設立
5月	27年産米の作付について ○試験栽培 大熊町 0.8ha、浪江町 0.1ha ○実証栽培 川俣町山木屋 0.4ha、檜葉町 4.7ha、富岡町 1.8ha、浪江町 1.27ha、葛尾村 1.18ha、飯舘村 0.9ha ○実証栽培から営農栽培で作付面積拡大へ 南相馬市 727ha、川俣町山木屋 1ha、 ○営農作付 田村市 332ha、広野町 163.3ha へ拡大
6月	野菜の出荷制限解除へ向けた試験栽培へ取組 南相馬市小高区、葛尾村、川俣町山木屋で申請。  試験操業対象魚種が 64 種へ拡大
6月19日	居住制限区域における営農活動について、国の確認を経て市町村が認める場合は実施可能となった。
7月10日	檜葉町で実証栽培による花卉（トルコギキョウ）の震災後初出荷
8月	平成 26 年産米玄米の全袋検査の状況 8月18日現在検査点数：11,006,030 点 うち基準値超えは流通しない自家保有米で 2 点（廃棄処分）。
8月18日	平成 26 年産米玄米の全袋検査の状況 ※平成 28 年 2 月 22 日現在検査点数：11,014,640 点うち基準値超えは流通しない自家保有米で 2 点（廃棄処分）。
8月20日	平成 27 年産米玄米の全袋検査開始 ※平成 28 年 3 月 8 日現在検査点数：10,453,335 点うち基準値越えはなし。
9月25日	フェリスラテ（復興牧場）が福島市に完成。
9月29日	葛尾村で出荷用米の稲刈りが 5 年ぶりに再開。

平成  
27  
年

	年月日	概要
平成 27 年	10月4日	檜葉町で柚子の実証栽培を開始。
	10月18日	檜葉町木戸川でのサケ漁5年ぶりに再開。
	11月16日	マレーシアへ初めて県産米12tの輸出へ。
	12月8日	あんぽ柿出荷式開催。事故前の75%（1,157t目標）。
	12月15日	フェリスラテ（復興牧場）から生乳を本格出荷開始。
	12月22日	川俣町山木屋の名物納豆「一豆賞」が4年9か月ぶりに出荷再開。
平成 28 年	1月6日	郡山市逢瀬で県産果実のワイナリーが醸造を本格開始。
	1月9日	EUが設けた日本産食品輸入規制が大幅に緩和。
	1月20日	南相馬市にあすびとトマト工場完成。年間660tの出荷へ。
	1月27日	試験操業対象魚種はマダラを含む72種へ拡大。
	2月5日	復興庁で「福島森林・林業の再生のための関係省庁プロジェクトチーム」初会合が開催。
	3月9日	「福島森林・林業の再生に向けた総合的な取組」を、（福島森林・林業の再生のための）関係省庁プロジェクトチーム会合で決定
	3月17日	南相馬市、川俣町山木屋、葛尾村で野菜の出荷制限が解除
	3月25日	福島県農業総合センター「浜地域農業再生研究センター」が開所。
	今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 平成28年産米の「作付制限」、「農地保全・試験栽培」、「作付再開準備」及び「全量生産出荷管理」の対象地</li> </ul>

年月日	概要
今後の予定	<p>域における作付け制限等の面積計は、27年産米の7,900haから7,800haに減少します。そのため、避難区域が設定された12市町村での28年産米の作付面積は前年比3割増の3,600ha超の見通。</p>

## ○ 産業分野

年月日		概要
平成 25 年	3月19日	「避難解除等区域復興再生計画」を決定 ※ 産業、生活環境、インフラに係る県及び被災市町村の具体的取組を計画
	4月26日	県が策定した「重点推進計画」を認定 ※ 再生可能エネルギー、医薬品・医療機器等の新産業創出を計画
	5月28日	県が策定した「産業復興再生計画」を認定 ※ 中小企業、観光業、農林水産業の復興再生を計画
	8月	企業連携プロジェクト支援事業を採択 ※ 会津若松市の観光広告事業や磐梯町の移動式カフェ事業など4事業（会津若松市、磐梯町、新地町、南相馬市）を支援
	10月	「新しい東北」平成25年度先導モデル事業を採択 ※ 土湯温泉の温泉熱を活かした六次化産業創出事業や南相馬市の地域再生と自律・分散型エネルギーコミュニティづくりなど県内14モデル事業（双葉郡1件、南相馬市1件、いわき市3件）を支援
	11月19日	第1回東北地方産業競争力協議会を開催 ※ 県ものづくり産業の戦略的育成として医療機器関連産業集積を指定
	12月25日	中小企業・小規模事業者のためのワンストップ年末特別相談会の開催（福島市）
平成 26 年	2月6日	地域復興マッチング「結の場」（福島市）を開催 ※ 大手企業等の有する豊富な経営資源を活用し、被災企業（福島市内金属加工業）の経営力・競争力強化を支援  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。（「結の場」開催）</a>
	3月7日	福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（第1次～第14次採択） ※採択件数相双地域 925件（相馬市 189件、南相馬市 339件、広野町 60件、檜葉町 65件、富岡町 45件、川内村 42件、大熊町 39件、双葉町 5件、浪江町 57件、新地町 21件、飯舘村 63件）いわき市 1,049件

	年月日	概要
平成 26 年	3月14日	<u>福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業（第15次～第16次公募）</u> ※募集期間 平成26年3月17日～5月16日
	4月6日	<u>仮設商業共同店舗（Domo（ど～も））開店</u> ※国・県・市の支援等により都路町古道と岩井沢に食料品や日用雑貨を扱う仮設商店2店舗がオープンした。町内の6商店が都路商工会と運営にあたる。  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(3年ぶりの学校再開と商業施設のオープン)</a>
	4月22日	<u>津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（第1次～第2次公募採択）</u> ※全採択件数147件（うち田村市4件、川内村8件、南相馬市14件、楡葉町3件、広野町6件、新地町2件、富岡町1件、相馬市1件、飯館村1件、川俣町1件、いわき市32件） （第3次公募） ※募集期間 平成26年5月16日～7月14日
	4月22日、24日	<u>被災市町村まちづくり担当者研修会を開催</u> ※商業集積の都市設計や産業地整備・企業誘致の担当者を参集して専門家講師を招へいし実施
	4月30日	<u>土湯温泉で小水力発電事業起工式</u>  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(土湯温泉で小水力発電事業起工式開催)</a>
	6月20日	<u>「避難解除等区域復興再生計画」を改訂</u>
	6月	<u>「新しい東北」平成26年度先導モデル事業を採択</u> ※252件の提案の中から48件を採択。
	7月31日	<u>仮設商業共同店舗「ここなら商店街」オープン（楡葉町役場西側駐車場）</u>
	8月20日	<u>平成26年度第1回福島県再生可能エネルギー関連産業集積推進協議会</u> ※再生可能エネルギーに係る体系的・戦略的な推進体制を整備し、関連産業の集積・育成を図るため県が主催。



年月日		概要
平成 26 年	8月28日	<p><u>土湯温泉でバイナリー発電事業安全祈願祭・起工式開催</u></p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています↓&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(土湯温泉でバイナリー発電事業安全祈願祭・起工式開催)</a></p>
	9月24日	<p><u>津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金</u>  (第1次～第3次公募採択)</p> <p>※全採択件数 183 件 (うち田村市 6 件、川内村 8 件、南相馬市 16 件、檜葉町 5 件、広野町 7 件、新地町 4 件、富岡町 1 件、相馬市 3 件、飯館村 1 件、川俣町 1 件、いわき市 38 件)</p>
	12月9日	<p><u>地域復興マッチング「結いの場」を開催</u></p> <p>※大手企業等 27 社の有する豊富な経営資源を活用し、被災企業 8 社 (南相馬市の金属加工業等) の経営力・競争力強化を支援</p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています↓&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(「結の場」開催)</a></p>
平成 27 年	1月15日	<u>いわき市豊間地区で仮設店舗「とよマルシェ」がグランドオープン</u>
	1月15日	<u>株クレハは、株クレはいわき事業所 (いわき市錦町) に塩化ビニリデン樹脂の新工場を落成</u>
	1月19日	<u>三春町はアニメ制作会社ガイナックスの子会社「福島ガイナックス」と、アニメ制作スタジオと本格的アニメミュージアムを開設する立地協定締結。4月オープン。</u>
	1月21日	<p><u>都路町内への新規コンビニエンスストアが開店</u></p> <p>※震災前も含めて都路町で初めてのコンビニエンスストア開設。復興局の支援制度で土地造成等を実施</p>
	1月21日	<p><u>シャープ富岡太陽光発電所安全祈願祭</u></p> <p>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています↓&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(シャープ富岡太陽光発電所安全祈願祭)</a></p>
	1月30日	<u>檜葉町内のファミリーマートが再開 (避難指示区域内で初の24時間営業)</u>
	2月18日	<p><u>郡山西部第一工業団地一期工区起工式</u></p> <p>※平成 28 年度分譲開始予定。同団地の事業用地 147.5ha、分譲用地は 74.3ha</p>



年月日	概要
平成 27 年	2月23日 <u>エリエールプロダクト新工場（紙おむつ、生理用品製造）起工式（いわき市）</u> ※2月24日着工、年内完成、平成28年2月操業開始予定
	2月26日 <u>全天候対応型の温室や管理棟、出荷棟からなる植物工場「南相馬トマト菜園」建設着工（総事業費約11億）</u> ※平成27年11月竣工、12月事業開始予定
	3月12日 <u>ふくしま産業復興企業立地補助金</u> ※第1次から第7次公募において、433件採択、補助総額1,969億円（会津48件、中通り北部75件、中通り中部121件、中通り南部61件、相双53件、いわき75件）
	3月25日 <u>ユーラス福島川内ソーラーパーク（太陽光発電所）建設工事安全祈願祭</u>
	3月31日 <u>福島給食センターが開所（大熊町）</u> ※東京電力福島第一原発の作業員に1日3,000食提供
	4月4日 <u>檜葉南工業団地に進出する住鉱エナジーマテリアル福島工場のニッケル酸リチウム製造起業工事安全祈願祭</u>
	4月10日 <u>郡山中央工業団地にニチオンの新工場「テクニカルデベロップメントセンター」開設</u> ※内視鏡手術器具の量産拠点
	4月22日 <u>津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金</u> 第1次から第4次公募において、福島県内で219件採択、補助総額約920億円 （会津16件、中通り北部31件、中通り中部37件、中通り南部28件、相双58件、いわき49件）
	4月25日 <u>物販観光施設「セデッテかしま」オープン</u> ※常磐自動車道南相馬鹿島サービスエリアに隣接した市のサービスエリア利活用拠点施設
	5月9日 <u>土湯温泉で小水力発電事業竣工式</u>
	5月19日 <u>新地南工業団地に(株)リード新地南工場が竣工</u>
	5月19日 <u>相馬市磯部地区メガソーラー起工式</u> ※52.5MW、平成29年6月運転開始予定
5月21日 <u>川俣西部工業団地、安全祈願祭</u> ※平成28年3月末完成予定。1区画2.5haの工場建設用地	

年月日	概要
	3区画を整備
5月25日	<u>広野駅東口ビル安全祈願祭・起工式</u> ※広野駅東側（津波被災地域）を復興ゾーンとして整備し、医療・商業・居住機能等を集約し、併せて廃炉関係企業を誘致・集約する開発整備事業のうち、広野町と清水建設でテナントビルを整備
5月	<u>「新しい東北」平成27年度先導モデル事業を採択</u> ※198件の提案の中から56件を採択（福島県関連は18件）。
6月6日	<u>複合商業施設(YO-TASHI)安全祈願祭、起工式（川内村）</u> ※平成27年12月オープン予定。
6月8日	<u>かえるかわうち・メガソーラー発電所建設工事安全祈願祭</u>
6月10日	<u>広野工業団地で操業するメイコー福島工場でメガソーラーの運用開始</u>
6月22日	<u>世界最大規模の浮体式洋上風力発電設備の組立完了（いわき市）</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックしてください。（世界最大規模の浮体式洋上風力発電設備の組立完了）</a>
7月	<u>被災地域企業新事業ハンズオン支援事業を採択</u> ※15件を採択（福島県内は、モモのエタノールによる新商品開発事業他4件採択）
7月11日	<u>アサカ理研（郡山市）は、太陽光発電の効率を高める発電パネル向けコーティング材を開発</u> ※産総研福島再生可能エネルギー研究所の支援プログラムに選定
7月13日	<u>シャープ富岡太陽光発電所竣工式</u> <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックしてください。（シャープ富岡太陽光発電所 竣工式）</a>
7月21日	<u>大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所の起工式</u>
7月24日	<u>川俣町山木屋地区復興メガソーラー売電開始</u>
7月30日	<u>広野町公設商業施設安全祈願祭・起工式</u> ※震災の影響により停滞している商業の活性化を図り、生活環境を整えることで町民の帰町を更に促進するため、町

平成  
27  
年

年月日	概要
	内において不足している食料品や生活用品等を取り扱う店舗等で構成する公設商業施設を整備
7月30日	<u>相馬市の大野台小水力発電所実証施設完成</u> ※相馬地方広域水道企業団
7月31日	<u>飯館村内のセブン-イレブンが再開</u>
7月31日	<u>福島県再生可能エネルギー復興推進協議会設立総会及び第1回協議会</u> ※避難解除区域等の復興加速化を図るため、関係機関一体で、復興に寄与する事業を推進することを目的に設立。
8月	<u>相馬共同火力発電（相馬市）は、新地発電所（新地町 総出力200万キロワット）において、木質バイオマス燃料を使った発電を運用開始</u>
8月7日	<u>南相馬市の藻類バイオマス生産開発拠点の主要施設完成</u>
8月24日	<u>第1回福島相双復興官民協議会</u> ※被災事業者等の生活再建、生業や就労の回復等きめ細かな支援の実施に向けて、地方公共団体を含む関係機関等との総合調整等を行うことを目的に設立。
8月24日	<u>川俣町山木屋地区復興メガソーラー発電所落成式</u>
8月26日	<u>(株)レイズの企業立地調印式</u> ※震災後初の広野工業団地への企業進出
8月26日	<u>ホテルルートインの立地決定・調印式（楡葉町）</u> ※平成29年度の開業を目標
9月1日	<u>中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業</u> 第1次～第14次において、福島県内で236グループ（3,682事業者）採択、補助総額1,151億円
9月8日	<u>会津大学復興支援センター先端ICTラボ「リクティア」完成式典</u>
9月16日	<u>地中熱利用実験施設開所式（郡山市）</u>
9月28日	<u>小高区「東町エンガワ商店」がオープン</u>

平成27年

年月日	概要	
平成 27 年	10月1日	地域復興マッチング「結の場」を開催（会津若松市） ※大手企業等 22 社の有する豊富な経営資源を活用し、被災企業 9 社（酒造業、漆器業、機械製造業等）の経営力・競争力強化を支援  ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています↓> <a href="#">ここをクリックして下さい。（「結の場」開催）</a>
	10月19日	「檜葉遠隔技術開発センター」開所式
	10月13日	檜葉町郵便局 同町北田の仮設店舗で 4 年 7 ヶ月ぶりに再開。全町避難からの郵便局再開は初。
	10月21日	JA たむら農産物直売所「ふあせるたむら」をオープン（田村市船引町に移転新築）
	10月28日	中央化学（食品容器製造業） 田村市常磐町の東北工場操業再開
	11月20日	土湯温泉のバイナリー発電所（出力 400kw）竣工式
	11月27日	東北電力原町火力発電所の石炭灰埋め立て地に建設するパークゴルフ場安全祈願祭 ※来年 10 月に 4 コースで開業し、平成 29 年 4 月にフルオープン（総事業費は約 6 億円）
	12月17日	相馬市においてバイオマス発電所起工式 ※出力 11 万 2 千 kw、総事業費は約 4 百億円。平成 30 年 3 月運用開始予定
	12月17日	相馬市尾浜に再建中の漁業関連施設のうち、集配施設が完成し、内覧会開催。
	12月25日	「CLT 東日本」（CLT の利用を進め、県内の林業再生を目指す新会社）が設立。CLT の事業会社設立は関東以北で初。
12月26日	飯館村商工会館安全祈願祭（来年 6 月末完成予定）	
平成 28 年	1月5日	天然ガスの製造・供給施設「小名浜サテライト」完成。1 月から小名浜臨界工業団地で供給を開始。
	1月22日	ベルグ福島（川俣町）植物工場落成式 ※野菜苗本格出荷（初年度は年間 250 万本）30 人増員予定

	年月日	概要
平成 28 年	1月20日	<u>植物工場「南相馬トマト菜園」開所式</u> ※年間約660トを出荷する計画、3月上旬の出荷開始予定。 50人新規雇用
	1月27日	<u>大熊町ふるさと再興メガソーラー発電所竣工式</u>
	1月29日	<u>吉本興業「福島よしもと」オープン</u> ※郡山市の複合商業ビル キックビーに開設
	2月5日	<u>地域復興マッチング「結の場」開催（富岡町・檜葉町・広野町・川内村）</u> ※大手企業等26社の有する豊富な経営資源を活用し、被災企業9社（農業、飲食業、製造業、サービス業等）の経営力・競争力強化を支援
	2月8日	<u>ふくしま産業復興企業立地補助金</u> ※第1次から第8次公募において、446件採択、補助総額1,997億円（会津54件、中通り北部76件、中通り中部118件、中通り南部61件、相双55件、いわき82件）
	2月9日	<u>いわき市久之浜・大久地区「まちなか再生計画」認定</u> ※商業施設については、生鮮食料品販売店、飲食店、美容室、郵便局等8店舗が出店、今年秋ごろ開業予定
	2月26日	<u>東北電力 南相馬市小高区の大規模蓄電池システムの営業運転開始</u>
	2月27日	<u>大型園芸施設（鹿島区南海老地区）起工式</u>
	3月1日	<u>かえるかわうち・メガソーラー発電所開所式</u>
	3月1日	<u>東京電力福島第1原発 ローソン開店</u>
	3月1日	<u>檜葉町「波倉メガソーラー発電所」建設工事起工式</u>
	3月5日	<u>広野町の公設商業施設「ひろのてらす」オープン</u> ※イオン広野店、CUCCINA（くっちな）の他、リフォーム店、ラーメン店、クリーニング店が出店
3月15日	<u>川内村の複合商業施設「ショッピングセンター YO-TASHI」オープン</u> ※ファミリーマート、飲食店、クリーニング取次店、薬局が出店	

	年月日	概要
平成 28 年	3月15日	<u>川内村「田ノ入工業団地」造成工事起工式</u>
	3月17日	<u>南相馬市小高区「懸の森第二メガソーラー発電所」竣工式</u>
	3月21日	<u>南相馬市小高区「真野川漁港施設」竣工</u>
	3月24日	<u>住鉱エナジーマテリアル(株)開所</u>
	3月24日	<u>川俣町「西部産業団地」開所式</u>
	3月26日	<u>広野みらいオフィス（広野駅東口ビル）竣工式</u>
	3月31日	<u>セブンイレブン福島富岡上郡山店がオープン</u>
今後の予定		<u>いいたてまでいな太陽光発電所（大火山）竣工（平成28年4月）</u>
		<u>米国の医療機器製造販売「サイトリ・セラピューティクス」の日本法人が郡山市に製造工場を新設、平成28年春稼働予定</u>
		<u>大熊町大川原地区へ廃炉作業関連企業の進出</u>
		<u>道の駅「までい館」竣工（平成29年3月）</u>
		<u>富岡工業団地に耐火材のロックウールの生産工場新設 ※平成28年春着工、平成29年操業開始予定</u>
		<u>四倉工業団地に産業集積（国際研究産業都市構想） ※平成29年度末までに造成、平成30年春の供用開始予定</u>
		<u>新地町に相馬港天然ガス発電所を建設予定 ※発電規模120万kw（60万kw×2基）平成32年運用開始予定</u>
		<u>東邦銀行檜葉支店4月21日再開予定</u>

年月日	概要
今後の予定	田村市産業団地（大越町）に木質バイオマス発電所建設予定 ※発電規模約 6800kw 平成 31 年売電開始予定
	浪江町「仮設商業施設」平成 28 年 10 月開設予定 ※生鮮食品、生活雑貨などの小売業、薬局、食堂、理美容業、クリーニング業など 5 店舗程度。敷地面積約 700 m <sup>2</sup> 。町役場敷地内に整備予定
	原町区大町地区に地域商業施設を整備（4 月中開店予定）
	小名浜港背後地の核となる複合商業施設が着工（平成 28 年夏の予定）
	川俣町「商業施設復興拠点」の造成開始（平成 28 年度予定）
	檜葉町「コンパクトタウン商業施設」平成 29 年度内開業予定



## ○ 教育・文化・子ども分野

年月日	概要	
3月23日	<u>市内3ヶ所目となる屋内遊び場「いわきっず るんるん」オープン</u>	いわき市
4月8日	<u>休校していた村立葛尾小・中学校三春校再開</u> ※旧三春町要田中学校内に再開。入学式が行われ、小学生14名、中学生5名が参加。9月には葛尾幼稚園も要田に移転(6名)	葛尾村
5月13日	<u>震災後始めて、広野町多目的運動場で運動会を開催</u>	広野町
6月1日 ～2日	<u>東北六魂祭開催</u> ※2日間で25万人の観光客  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(東北六魂祭)</a>	福島市
6月26日	<u>県外に避難している小中学生交流会の開催</u> ※県外に避難している小中学生、全9校の交流の場を設け、こどもたちの絆を維持	浪江町
7月15日	<u>四倉・勿来海水浴場で海開き(7/15～8/18)</u>	いわき市
7月22日	<u>プロ野球オールスターゲーム第3戦がいわき市で開催</u> ※併せて福島復興祭『食のオールスター』を開催 県内外の自治体が参加(7/21, 22)	いわき市
7月26日 ～28日	<u>国の重要無形民俗文化財 相馬野馬追</u> ※3日間で計16万6,500人(前年比+6,800人)、震災前の2010年(21万4,900人)の約8割の水準  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(相馬野馬追)</a>	南相馬市

平成  
25年



	年月日	概要	
平成 25 年	7月31日	<u>福島県双葉郡教育復興ビジョンを取りまとめ</u> ※福島県双葉郡双葉地区教育長会が主催し、国、県、大学等の関係機関の協力のもと、双葉郡の今後の教育のあり方について中長期的視点から協議。一貫した価値観の教育目標・カリキュラムによる教育（中高一貫校の設置等）、多様な主体との連携による教育の充実、避難している子供たちや住民との絆づくり等について提言。	-
	8月3日	<u>都路灯祭りの開催</u> ※準備宿泊が認められて初めての開催。県内外から想定（1,200人）を上回る約2,000人が参加（昨年比 +800人）。2010年の震災前は9,500人が参加	田村市
	8月7日	<u>富岡町小中高校生の「再会の集い」開催</u> ※900人の小中高生と保護者が一堂に会し、懐かしい友達との再会などでふるさとへの想いが高まった。  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい（富岡町小中高生再会の集い）</a>	富岡町
	9月7日	<u>被災した市立第二中学校の新校舎完成</u>	本宮市
	9月8日	<u>村民のつどいの開催</u> ※震災前に実施していた「感謝祭」のリニューアル版として、公民館まつりと同時に開催。村民ら約250人が参加	葛尾村
	9月17日	<u>桜丘小学校屋内運動場完成</u>	相馬市
	9月23日	<u>双葉郡子供未来会議の開催</u> ※「双葉郡教育復興ビジョン」の共有と、具現化のための当事者の意見収集を目的として、公募で参加した小中高生、保護者、教職員等による対話を実施	いわき市

年月日	概要	
10月4日 ～	<u>子どもの居場所（遊び場・運動の場）づくりやプレイリーダーの養成、心身ともに豊かな子どもを育成するための事業を実施</u> ※元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会を目指し、「新しい東北」先導モデル事業において、福島県関連で5事業を実施。	-
10月13日	<u>双葉郡子供未来会議の開催</u>	会津 若松市
10月15日	<u>川俣体育館2階「子どもランニングコース」の利用開始</u> ※こども元気復活交付金を活用	川俣町
10月18日	<u>光陽サッカー場リニューアルオープン</u>	相馬市
10月19日	<u>「ふたばワールド2013」14年ぶりに開催</u> ※双葉地方広域圏組合が福島復興局事業などを活用し、「ふたばワールド」を広野町総合グラウンドで開催。約3千人の来場者で会場は賑わった  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(ふたばワールド2013)</a>	広野町
10月26日	<u>双葉郡子供未来会議の開催</u>	郡山市
11月2日	<u>屋内運動施設「スマイルキッズパーク」の利用再開</u> ※こども元気復活交付金を活用  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(スマイルキッズパークで思いっきり遊ぼう)</a>	本宮市
11月8日	<u>いわき明星大学と連携協力協定書に調印</u>	檜葉町
11月22日 ～24日	<u>学用品等持出し支援</u> ※避難指示区域にある幼稚園・小中学校に置きっぱなしになっている「思い入れのある私物」を持ち帰り、ふるさとへの想いを再確認  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(思い出の品との再会)</a>	富岡町
12月3日	<u>福島県知事が、双葉郡の中高一貫校を広野町に設置することを表明</u>	-
12月5日	<u>UF〇の里広場の遊具の供用開始</u> ※こども元気復活交付金を活用	福島市

年月日		概要	
平成 25 年	12月27日	大倉体育館修繕工事竣工 ※村が福島復興局の支援制度を活用して、修繕工 事を実施	飯舘村
平成 26 年	1月13日	双葉郡子供未来会議（サテライト高校関係）の開 催	いわき市
	1月18日 ～ 3月23日	県文化財センター白河館（まほろん）で特別企画 展開催 ※震災・原発事故の前まで双葉・大熊・富岡三町 で保管されていた文化財等を展示	白河市
	1月24日	双葉郡子供未来会議（教職員関係）の実施	郡山市
	2月7日	磯部小学校屋内運動場完成 ※復興交付金の公立学校施設整備費国庫負担事業 等を活用	相馬市
	2月10日	被災した町立第一小学校の新校舎完成	鏡石町
	2月19日	双葉郡子供未来会議（双葉郡出身児童生徒及び保 護者）の開催	広野町
	3月27日	双葉郡子供未来会議（取りまとめ）の開催	郡山市
	3月30日	「わんぱくキッズ広場」オープニングセレモニー ※こども元気復活交付金を活用	南相馬市
	4月1日	双葉町立小中学校・幼稚園を再開 ※いわき市立等の学校に通っていた児童・生徒を 対象に、双葉町立の学校等で授業を再開 ※事故で全域が避難区域に指定された7町村全て で、自前の学校を整備して授業が再開	双葉町
	4月1日	都路町内の公営キャンプ場「グリーンパーク都路」 が再開	田村市
	4月2日～ 4日	「ふくしまっ子 10万人の笑顔プロジェクト」一 般公開  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(ふくしまっ子の笑顔の力を 世界中に向けて！)</a>	福島市
	4月6日	都路町内で小中学校・こども園が再開 ※事故後、市内の他の地域で授業を行っていた小 中学校、こども園が、元々所在していた都路町古	田村市

年月日	概要	
	道で再開。 <a href="#">&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(3年ぶりの学校再開と商業施設のオープン)</a></a>	
4月12日	富岡町「復興への集い2014」の開催 ※福島復興局の支援制度を活用し、夜ノ森の観桜の後、広野町中央体育館で住民交流イベントを実施。亀岡、小泉両政務官が出席  <a href="#">&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(富岡町復興への集い2014)</a></a>	富岡町
4月26日	四倉に被災児童復興支援施設「ふくまる」開所	いわき市
4月29日	上川内諏訪神社で春期祭礼 ※震災後のはじめて、県重要無形民俗文化財に指定されている「三匹獅子」を奉納	川内村
	東京ガールズコレクション開催 <a href="#">&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(東京ガールズコレクションin福島)</a></a>	郡山市
4月30日	国見小学校屋外運動場遊具完成披露式 ※子ども元気復活交付金を活用  <a href="#">&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(国見小学校屋外運動場遊具完成披露式)</a></a>	国見町
5月24日	都路で4年ぶりに古道小学校の運動会を開催 川内小学校で運動会を開催	田村市 川内村
5月25日	伊達ジュニアウィンドオーケストラ・東京藝大ウィンドオーケストラ第3回合同演奏会の開催  <a href="#">&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(伊達ジュニアウィンドオーケストラ・東京藝大ウィンドオーケストラ第3回合同演奏会)</a></a>	伊達市
5月28日	カタールフレンド基金による体験型教育施設「スチューデント・シティ／ファイナンス・パーク」の運用開始	いわき市

平成  
26  
年

年月日	概要		
平成 26 年	5月30日	<p><u>国見ルネサンス 2014～復興・絆・ふるさと祭り～の開催</u>            &lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(国見ルネサンス 2014)</a></p>	国見町
	6月21日	<p><u>町営多目的広場のグランド利用開始（人工芝にリニューアル）</u>            ※子ども元気復活交付金を活用            &lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(おもいきり遊ぼう、公園やグランド)</a></p>	鏡石町
	6月28日	<p><u>観月台公園遊具完成披露式</u>            ※子ども元気復活交付金を活用</p>	国見町
	7月3日	<p><u>ふれあいの森公園リニューアルオープン（アスレチック遊具等更新）セレモニー</u>            ※子ども元気復活交付金を活用</p>	鏡石町
	7月6日	<p><u>双葉郡子供未来会議（中高一貫校学校名）の開催</u>            ※8月6日に県知事が中高一貫校の校名案を「ふたば未来学園高等学校」とすることを発表</p>	檜葉町
	7月7日	<p><u>翠ヶ丘公園内わんぱく広場リニューアルオープン（コンビネーション遊具設置）セレモニー</u>            ※子ども元気復活交付金を活用            &lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;  <a href="#">ここをクリックして下さい。(おもいきり遊ぼう、公園やグランド)</a></p>	須賀川市
	7月10日	<p><u>「ふたばの教育復興応援団」設立</u>            ※双葉郡の教育復興に向けた様々な取組を応援するため、小泉政務官が中心となり各界のメンバーで構成される応援団を設立</p>	-

年月日	概要	
7月20日	<u>熊川稚児鹿舞4年ぶり復活の舞</u> ※「おおくま・甲和会合同夏まつり」において、震災の津波で衣装や楽器が流され、原災の避難もあって中断していた大熊町の伝統芸能「熊川稚児鹿舞」が地元小学生や保存会の努力で4年振りに復活	大熊町
7月26日	<u>相馬市の歴史資料を収蔵・展示する「相馬市歴史資料収蔵館」と地域の民族資料を保全・展示する「相馬市郷土蔵」がオープン</u> ※「相馬市郷土蔵」は、復興交付金を活用。	相馬市
7月29日	<u>福田町民プールリニューアルオープン</u> ※子ども元気復活交付金を活用	新地町
7月31日	<u>ふみだす探検隊（なすかしドリームプロジェクトⅢ）の来局</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい（ふみだす探検隊（なすかしドリームプロジェクトⅢ）の来局）</a>	福島市
8月2日	<u>4年ぶりに震災前と同じ場所（グリーンパーク都路）での「都路灯まつり」開催</u>	田村市
8月7日	<u>「子ども友情の集い」開催</u> ※全国各地に避難する小学1年から高校3年までの児童・生徒約350人と保護者等約750人が参加し、古里への想いを再確認し交流を深めた。	富岡町
8月8日	<u>白河関の森公園大型遊具オープニングセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	白河市
8月18日	<u>鶴子山公園大型遊具オープニングセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	白河市
8月24日	<u>双葉町立幼小中学校仮設校舎落成式</u> ※8月25日には児童生徒15名で始業式を実施	双葉町
8月31日	<u>飯舘村復興公営住宅飯野町団地竣工</u> ※「村外子育て拠点」として、福島市飯野町に23戸の住宅を整備し、スクールバスで通学する子どもと親の負担を軽減。原子力発電所事故被災者向けでは初の復興公営住宅。	飯舘村

平成  
26年



年月日	概要	
	<福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(復興公営住宅完成)</a>	
9月12日	<u>子ども屋内運動場（新中町）オープン（旧川俣精練事務所改築）</u> ※山木屋地区住民用復興公営住宅予定地の隣接地	川俣町
9月28日	<u>「ふたばワールド2014」開催</u> ※双葉地方広域圏組合が福島復興局の支援制度も利用して、昨年に引き続き川内村で実施。昨年の2倍以上となる6,500人もの来場者が訪れ、懐かしい顔との再開に昔話や近況についての話が弾んでいた。  <福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！> <a href="#">ここをクリックして下さい。(「ふたばワールド2014in川内村」開催)</a>	川内村
10月1日	<u>ニッ沼総合公園大型複合遊具完成</u> ※「子ども元気復活交付金」を活用しリニューアルされたばかりの遊具の内覧会に、広野幼稚園児を招待	広野町
10月11日	<u>日山神社例大祭を震災後はじめて村内の日山で再開</u> ※震災後はじめて田沢・茂原（二本松市）、葛尾（葛尾村）の三地区が日山の山頂で例大祭を行った。三匹獅子舞の奉納は避難先の過足仮設団地で行われた。	葛尾村
11月13日	<u>中高一貫校入学者選抜実施要綱発表</u> ※平成27年度春の開校に向けた募集要項を発表	—
11月22日	<u>「ふたば未来学園高等学校」学校見学会</u> ※進学を希望する中学生や保護者ら、約300人が参加した。	広野町
11月29日	<u>第1回広野“ふる里ふれあい”マラソン～復興にかけるリレーマラソン2014～を実施</u>	広野町
12月5日	<u>安達ヶ原公園屋内遊び場リニューアルセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	二本松市
12月6日	<u>いわき市漁協が平成26年度「第二回親子漁業体験バスツアー」を開催</u>	いわき市
12月12日	<u>大熊町復興のための中学生による意見発表会</u> ※大熊中の代表生徒が古里復興に向けた提言	大熊町

平成  
26  
年

年月日		概要	
平成 26 年	12月20日	<u>双葉郡教育復興ビジョン推進協議会に係る「ふるさと創造学サミット」の開催</u> ※双葉郡8町村の児童・生徒が取り組んでいる「ふるさと創造学」の学習成果発表や、乙武洋匡先生の特別事業「夢ゼミ」を実施	郡山市
	12月25日	<u>スマイルキッズパーク屋外遊び場オープンセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	本宮市
		<u>天栄村屋内運動施設オープンセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	天栄村
		<u>いわせ多目的グラウンドオープンセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	須賀川市
平成 27 年	1月6日	<u>18歳未満の子どもの県外避難者数が県内避難者数を初めて下回ったと福島県が公表(半年毎の集計)</u> 県外避難者 H24.10.1 16,970人 → H26.10.1 12,436人 県内避難者 H24.10.1 13,998人 → H26.10.1 12,437人	—
	1月9日	<u>川内村村営プール整備事業安全祈願祭</u>	川内村
	1月23日	<u>ふたば未来学園高校の出願者が定員を上回る</u> ※I期選抜と連携型選抜に計152人が出願。県教委は定員を120人→152人に増員。2月6日に全員が合格内定通知を受けた。	—
	2月19日	<u>鹿島区屋内運動施設整備着工(H28年3月完成予定)</u> ※子ども元気復活交付金を活用	南相馬市
	3月20日	<u>福島市子育て支援賃貸住宅(20戸)完成・引渡し</u> ※子ども元気復活交付金を活用	福島市
	3月24日	<u>スマイルパークほばら開場式</u> ※子ども元気復活交付金を活用	伊達市
	3月27日	<u>矢吹町屋内外運動施設(愛称「未来くる矢吹」)オープンセレモニー</u> ※子ども元気復活交付金を活用	矢吹町
	4月1日	<u>防犯等のための見守りカメラ事業開始</u> ※文教地区を防犯重点エリアとして、通学する子供たちの安全を守るため防犯カメラを稼働	広野町



年月日	概要	
4月4日	<u>市立あずま保育園入園式</u> ※原町区の公立保育園で震災後初の開園	南相馬市
4月8日	県立中高一貫校「ふたば未来学園高校」開校 ※東日本大震災・福島第一原子力発電所事故からの再生と福島県の復興を支える人材育成を目指し開校。開校式には小泉復興大臣政務官が出席された。(一期生徒152名) ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックしてください！(復興へ新たな歴史 ふたば未来学園高校が開校)</a>	広野町
5月3日	ニッ沼総合公園グラウンド・オープン ※東日本大震災直後、この公園は廃炉作業等に携わる事業者の事業所や宿舎の敷地として一時的に使われていたところ、広野町の復興に合わせて廃炉作業等の体制が整ったことから、これら事業所等が退去した後に遊具の一新と芝などの整備を経てグラウンド・オープンした。 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックしてください。(ふれあいフェスタ5年ぶり開催)</a>	広野町
5月3日	<u>屋内温水プール・多目的スタジオ(愛称「イコーゼ」)</u> オープニングセレモニー ※子ども元気復活交付金を活用	桑折町
5月15日	日本大学工学部と「葛尾村の復興まちづくりに係る包括連携協定」を締結	葛尾村
6月3日	<u>屋内市民プール新築工事安全祈願祭</u> ※子ども元気復活交付金を活用	二本松市
6月6日	<u>パレオパークやながわ開場式</u> ※子ども元気復活交付金を活用	伊達市
6月11日 ～22日	<u>子供たちによる将来像についての意見交換会開催</u> ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(子どもたちによる将来像についての意見交換会)</a>	川俣町、 田村市、 飯舘村、 南相馬市
6月29日	<u>本宮市子ども屋外プールオープン</u> ※子ども元気復活交付金を活用 ＜福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！＞ <a href="#">ここをクリックして下さい。(本宮市子ども屋外プールがオープン！)</a>	本宮市

平成  
27  
年

年月日	概要	
7月20日	<u>みちのく鹿島球場（津波被災）の復旧完了（再オープン記念イースタンリーグ楽天 vs ロッテ戦開催）</u>	南相馬市
7月28日	<u>富岡町「子ども友情の集い」</u> ※全国各地に避難する小学1年から高校3年までの児童・生徒約166人と保護者等約141人が参加し、古里への想いを再確認し交流を深めた。	富岡町
7月31日	<u>被災した市立第一小学校の新校舎完成</u>	須賀川市
8月6日	<u>福島大学「いわき・双葉地域支援サテライト」があおぞらこども園に開所</u>	檜葉町
8月8日	<u>ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動推進本部が「いわきの夏を満喫！親子で行く安全・安心実感ツアー」を開催</u>	いわき市
8月18日	<u>福島県が小名浜魚市場で県産農林水産物の魅力や安全性をPRする「子育て世代向け安全安心セミナー」を開催</u>	いわき市
8月20日	<u>檜葉町総合教育会議で学校再開時期（平成29年4月）を決定</u>	檜葉町
9月7日	<u>あおぞらこども園にサロン「ふらっと」がオープン</u>	檜葉町
9月8日	<u>会津大学復興支援センター「先端ICTラボ」完成式典</u>	会津若松市
10月～	<u>幼稚園の修繕事業を実施</u>	葛尾村
10月10日	<u>「ふたばワールド2015 in ならは」の開催</u> ※双葉地方広域圏組合が福島復興局の支援制度も利用して、檜葉町で実施。昨年を大幅に上回る8,000人ももの来場者が訪れ、懐かしい顔との再開に昔話や近況についての話が弾んでいた。 <u>&lt;福島復興局からの復興だよりでも取り上げています！&gt;</u> <u>&gt;</u> <u>ここをクリックしてください。（「ふたばワールドinならは」開催）</u>	檜葉町
10月17日	<u>平成27年度「第1回親子漁業体験バスツアー」（いわき市漁業協同組合）の開催</u>	いわき市
10月21日	<u>相馬市東部子ども公民館落成</u> ※放課後児童クラブ、子育てサロン等を備えた交流拠点	相馬市

平成  
27  
年

年月日		概要	
平成27年	12月12日	<p><u>「第2回ふるさと創造学サミット」の開催</u>            ※双葉郡8町村の児童・生徒が、「ふるさと創造学」の取組成果を発表。2回目となる今年は、小・中学校に加え、郡内6つの高校も参加した。</p>	郡山市
平成28年	1月9日	<p><u>5年ぶりに巨大ダルマ引きが復活</u>            ※江戸時代から続いている新春恒例の双葉町ダルマ市で5年ぶりに復活した巨大ダルマ引きが行われた。</p>	双葉町
	2月26日	<p><u>激励のメッセージが残る請戸小学校の黒板が取り外される</u>            ※災害伝承や防災教育に活用するため、当面、幾世橋小学校内に保管。</p>	浪江町
	3月27日	<p><u>子どもに健全な遊びや学習の場を提供等する「いわき市こども元気センター」が完成し、供用開始</u>            ※子ども元気復活交付金を活用</p>	いわき市
今後の予定		<p>➤ <u>市民プール完成（平成28年度）</u>            ※子ども元気復活交付金を活用</p>	相馬市
		<p>➤ <u>「かしまわんぱく広場」（ドーム型屋内遊び場）完成（平成28年4月）</u></p>	南相馬市
		<p>➤ <u>川内村村民プール「もりたろうプール」オープン（平成28年4月3日）</u></p>	川内村
		<p>➤ <u>新舞子多目的運動場が完成（平成28年4月9日）</u>            ※子ども元気復活交付金を活用</p>	いわき市
		<p>➤ <u>第1回川内の郷かえるマラソン大会～復興から創生への折り返し～開催（平成28年4月30日）</u></p>	川内村
		<p>➤ <u>こども放射線防御・震災復興国際シンポジウム開催（平成28年5月、共催：WHO）</u></p>	相馬市
		<p>➤ <u>第3回U15野球ワールドカップ」の開催（平成28年7月29日～8月7日）</u></p>	いわき市
		<p>➤ <u>田村市都路町の古道小学校と岩井沢小学校が統</u></p>	田村市

年月日	概要	
今後の予定	<p>合予定（平成 29 年 4 月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <u>小高商業高校、小高工業高校の統合及び小高区での再開予定（平成 29 年 4 月）</u></li> <li>➤ <u>飯館中学校で幼稚園・小学校・中学校再開予定（平成 30 年 4 月）</u></li> </ul>	南相馬市 飯館村

## ○ 医療・福祉分野

年月日	概要	
平成25年	4月1日	川内村国保診療所において、従来の内科・歯科に加え、整形外科、心療内科、眼科、消化器内科の診療も可能となった。
	5月9日	浪江町役場本庁舎内に応急仮設診療所が開所 ※浪江町役場本庁舎内に一時帰村する村民向けの診療所が開所した。
	5月11日	福島県立医大会津医療センターが開院 ※会津若松市に、専門的な治療が可能な福島県立医大の分院が開院した。
	10月24日	平成25年度に医学部を卒業する新人医師のうち92名が、県内18病院に研修医として採用されることが内定（卒後臨床研修制度）
	11月1日	雲雀ヶ丘病院（南相馬市）の認知症治療病棟が再開
平成26年	2月19日	健康保険について、被保険者等の一部負担金及び保険料（税）の免除措置等の延長、介護保険について、被災した被保険者の利用者負担等の減免措置の延長が決定
	3月10日	南相馬市にあった渡辺病院が新地町に移転し、診療開始 ※当面、全140床のうち、46床を稼働する。
	4月1日	田村市船引に内科および小児科の夜間診療所が開設
	4月23日	南相馬市小高地区にある南相馬市立小高病院が内科の外来診療を再開
	5月1日	川内村国保診療所に常勤の内科医師が着任
	6月16日	国立病院機構災害医療センターが福島市に福島復興支援室を設置。 ※本支援室は県内市町村や医療機関への医師や保健師の応援派遣を支援する。
	10月23日	平成26年度に医学部を卒業する新人医師のうち88名が、県内17病院に研修医として採用されることが内定（卒後臨床研修制度）
平成27年	2月23日	健康保険について、被保険者等の一部負担金及び保険料（税）の免除措置等の延長、介護保険について、被災した被保険者の利用者負担等の減免措置の延長が決定
	3月1日	公立小野町地方総合病院が移転および新築され開院

年月日	概要	
平成 27 年	3月7日	公立相馬総合病院第一病棟が落成
	4月1日	福島県立医大が総合診療医を育成する寄付講座「白河総合診療アカデミー」を白河厚生総合病院に設置
	7月1日	市立小高病院の診療日が週3日から週4日に
	9月2日	放射線医学総合研究所がいわき市内郷支所内に「放医研福島復興支援本部いわき出張所」を設置
	9月7日	双葉郡等避難地域の医療等提供体制検討会を設置
	10月1日	檜葉町でときクリニックが再開
	10月22日	平成27年度に医学部を卒業する新人医師のうち96名が、県内17病院に研修医として採用されることが内定（卒後臨床研修制度） ※96名は卒後臨床研修制度ができてから最多の数である。
	11月1日	川内村で特別養護老人ホームかわうちが開所
	11月2日	南相馬市鹿島区で絆診療所が移転開所 ※平成24年5月から鹿島区で仮設開所していたが、本格的な施設に移転した。
平成 28 年	1月31日	檜葉町に県立大野病院附属ふたば復興診療所（愛称：ふたばりカーレ）が開所
	2月12日	健康保険について、被保険者等の一部負担金及び保険料（税）の免除措置等の延長、介護保険について、被災した被保険者の利用者負担等の減免措置の延長が決定
年月日	概要	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 福島県立医科大学がふくしま国際医療科学センターを設置予定（平成28年度本格稼働）</li> <li>➤ 市立小高病院の診療日が週4日から週5日に（平成28年4月）</li> <li>➤ 南相馬市小高区でもんま整形外科医院、半谷医院が再開予定（平成28年4月）</li> <li>➤ 飯舘村でいたてクリニックが再開予定（平成28年9月）</li> <li>➤ 富岡町で町立診療所が開所予定（平成28年10月）</li> <li>➤ 川俣町で山木屋診療所が再開予定（平成28年内）</li> <li>➤ 檜葉町で特別養護老人ホームリリー園が再開予定（平成28年内）</li> <li>➤ 浪江町で町立診療所が移転開所予定（平成28年度内）</li> <li>➤ 双葉地方広域市町村圏組合が主体となり、いわき市の</li> </ul>	

年月日	概要
今後の予定	北好間地区と勿来地区の災害公営住宅内に郡立診療所を設置予定